

FUKUCHI

Public
Relations

No.240
December

広報ふくち



2025
12

特集 「挑戦」

福智の未来を切り拓くために――

あまのきじょうじょうじょう
天郷醸造所の初蔵開きが11月23日に行われ、醸造所の代表 やうすけ 中山雄介さんの弟・中山啓さん（写真⑥）らがみなさんへの感謝の気持ちとこの日を迎
えられたことを祝って、雅楽を生演奏しました。今月号では福智町のためにそれぞれが思い描く未来へ向けての「挑戦」にスポットを当て紹介します。

天郷醸造所「初」蔵開き
ついに幕を開けた

挑戦



特集「挑戦」 福智の未来を切り拓くために―

この日を迎えた感謝を込めて

2023年12月に福智町とともに「クラフトサケ醸造所誘致事業」への挑戦を始めて2年。ついに天郷醸造所の初蔵開きが11月23日に行われました。この挑戦を支えてくださったかたがたに、これまでの感謝とこの日を無事に迎えられたことを祝った直会。初蔵開きではこの日を記念に特製上野焼お猪口や上野焼限定ボトルの限定販売、中山さんの弟・中山啓さんらによる雅楽の生演奏など、来場者約500人は、普段味わえない優雅な空間で福智町の豊かな自然と恵みを生かしたお酒を堪能しました。

この日、天郷醸造所は福智町の魅力を生かし、地域活性化を目指したまちづくりへの「挑戦」を新たにスタートさせました。



1 開式の言葉とともに来場者へ感謝を伝える中山雄介さん。2 蔵開き限定の上野焼特別ボトルを渡す中山さん。3 町外からお酒を求めて来場。4 町内の飲食店が数多く出店し、にぎわう会場。5 初めて味わうお酒に舌鼓を打つ来場者。6 お酒を買い求め、できた長蛇の列。7 お酒も進み会話も弾む来場者たち。8 「福智町にこんな素晴らしい場所ができて嬉しい」と語る町内の来場者。9 蔵開き限定の上野焼お猪口を販売する本村さん。10 自販売ブースへと立ち、お酒を販売する中山さん。

かつて福智が直面した大きな壁

数多くの「挑戦」によって課題を乗り越えてきた福智町。新たに迫る壁を越えるべく、町は今も挑み続けています。

目指す「持続可能な福智町」

かつて昭和時代に華やかな炭都の一角として名を成した筑豊炭田。旧3町は「筑豊に5円以下の貨幣はない」と言われるほどの好景気に湧く炭鉱町でした。しかし、昭和40年代後半から、産業用のエネルギーは石炭から石油と転換し、炭鉱は次々と閉鎖。その後、旧3町は新たな活路を見出すため、炭鉱にかわる産業を模索しますが、成果を上げられず町の倒産を意味する財政再建団体へと転落しました。しかし、旧3町は、住民によるボランティア団体の活動や行政の徹底的な経費削減など町全体で取り組んだ強い意志によって計画より早く再建団体を脱却することができました。

平成18年に、旧3町は財政再建のため、市町村合併。今もなお、町の課題は多岐にわたり、人口に關しては今後も減少が続く、国立社会保障・人口問題研究所が推計した令和32年(2050年)の人口



↑ 財政再建のため、職員の手で道路補修を行う姿は注目を浴びた。

は、現在の人口の半数に近い12,586人になると予測。財政面では、令和13年度以降、基金※を取り崩すしかない将来が想定されるため、令和12年度までに「持続可能な福智町のあるべき姿」を示すことが急務となっています。私たち一人ひとりが今迫る大きな壁を乗り越えるため、町の課題に向き合い、行動することが求められています。

※ 基金：特定の目的のために使う資金のこと、家計でいう貯蓄。



あまのさとじょうぞうじょ
Interview 天郷醸造所 代表取締役 中山 雄介さん

これまでともに歩んできたみなさん、そして仲間たちとこの日を迎えることができるととても嬉しく思います。初蔵開きでは、「また飲みたい」や「楽しみにしてたよ」などの温かいお言葉をいただき、改めて福智町でこのプロジェクトに挑戦して良かったと実感し

ています。そして、蔵開きを通じて、みなさんが天郷醸造所のお酒に込めている期待や希望も感じました。そんな思いを裏切らないよう、これからも仲間たちと切磋琢磨しながら日本が誇る伝統的酒造りを受け継ぎお酒と故郷の魅力を世界へと広げていきたいです。

NFCタグを活用した
より深い、体験を



天郷醸造所のボトルには、NFCタグを搭載しています。スマートフォンをかざすだけで、専用のウェブページにアクセスでき、本商品に込められた想いや、使用している福智町の恵みについて詳しく知ることができます。どのような想いで酒造りが行われているのか、より深く知りながら楽しむことができます。

Interview



製造・営業 本村雄斗さん

「地域創生へ踏み出す挑戦を」

天郷醸造所の求人募集をインターネットで見かけ、福智町が行っている「クラフトサケ醸造所誘致事業」と中山さんの情熱に満ちた挑戦に魅力を感じ、応募しました。今年の9月から福智町へ移住しお酒の製造と営業を行っています。原料はすべて福智町の恵まれた資源を使い、町の魅力が詰まったお酒となっています。私たちの挑戦が福智町の未来を切り拓く一歩となつてほしいです。



製造責任者 上田竜志さん

「町の魅力を引き立てるお酒を」

昔から食に関して興味があり、特にお酒は好きでした。大学卒業後は、旭酒造と永山本家酒造で8年間、お酒の製造を行っていました。中山さんとはこのプロジェクトがきっかけで出会い、目指す方向やお酒への想いに共感し、ともに挑戦することを決意。製造責任者としてプレッシャーはありますが、町の魅力を引き立てるお酒を作り、天郷醸造所のお酒を待っている人たちに届けたいです。

町の魅力をお酒に込めて 未来を見据えた挑戦

1 福智山が見える自然豊かな農地に酒米の稲を植える伝農舎 今永明徳さん(上野)。
2 太田政孝さん(弁城)の田んぼで慣れた手つきで稲刈りをする本村さん。
3 蒸し米に黄麹菌を植えるため温度を調整。
4 酒母に水と麹、酒米を入れ初添えをする上田さん。



↑ 町内で酒米を無農薬で作っている農家さんのもとで中山さんは自ら田植えを行い、福智町の恵みを五感で体感。

「今回、私の挑戦に共感したかたがたくさん集まってくれたことは本当にありがたいこと。この繋がりををもっと広め、福智町の魅力を多くのかたに届けていきたいです」と熱を込めて語る中山さん。

今後は、「町内の飲食店などに天郷醸造所のお酒を置いてもらう予定。また、お酒をもつと身近に感じてもらうために醸造所の隣に宿泊できる施設や飲食店などを作っていきたいです」と中山さんは今後の展望に目を輝かせていました。福智町の未来とユネスコ無形文化遺産にも登録された日本の伝統的な酒造りを守り、繋いでいくため、中山さんはさまざまな挑戦を続けていきます。↘

誇る文化で地域創生の起点へ

日本が誇る伝統文化と町の魅力を世界に発信する

天郷醸造所

あまのさとじょうぞうじょ



←ブランド名の「在る宵」は私たちのすでに在る幸せなどを見つめ直してほしいという意味が込められています。

福智町の魅力とお酒で地域創生を目指す「クラフトサケ醸造所誘致事業」。

愛する故郷とともに未来を切り拓く醸造所の挑戦と今後の目標をご紹介します。

天郷醸造所のお酒「在る宵」を世界に発信

「香港インターナショナル・ワイン&スピリッツフェア 2025」が11月6日～8日に香港で行われ、中山さんたちはその展示会で自社商品「在る宵」をPRしました。今後は、香港の飲食店でもお酒を卸す予定。3日間で約200人のかたが試飲し、日本が誇る「お酒」と福智ブランドを世界へ発信しました。



←世界各国から8千人以上が来場したアジア最大級の酒類展示会。

Column

福智町にたくさんある魅力を「お酒」という一つの日本文化にカタチを変え、まちづくりの起点になろうとしている天郷醸造所。今後の挑戦に期待が膨らみます。

夢見た故郷での酒づくり

上野焼や町内の特産物を酒造りと掛け合わせて地域活性化を目指すべく、福智町は独自に「福智町クラフトサケ醸造所誘致事業」を実施。町とともに未来を切り拓く挑戦に手を挙げたのが、福智町伊方出身で今回「天郷醸造所」を開業した中山雄介さんでした。「以前はお酒をマーケティングする仕事を10年以上経験し、いつかは故郷である福智町で酒造りをしたいとの想いを抱き続けてきました。そんな中、このプロジェクトのことを知り、運命を感じて、この挑戦に手を挙げさせていただきました」と中山さんは夢でもあった醸造所を上野の地にオープンさせました。

「福智町は、上野レモンや赤池梨、いちご、お米、水源の森百選にも選ばれた福智山の水源林から湧き出る水などの資源に恵まれています。これらの地域産品の価値を上げるため、お酒に使う材料などはすべて町内のもので、農作物もすべて無農薬のものを使用しています」と語る中山さんは、日本の伝統文化であるお酒を軸として、福智町の魅力を世界へと広める第一歩を踏み出しました。↘



Interview ^{くまがえ まもる} 熊谷 守さん 「伝統と町の繁栄を親子二代で挑む」

娘 たちの若い感性にはいつも驚かされています。私が作った釉薬で恐竜の器やアクセサリ類など今までになかった作品たちにいつも刺激をもらっています。現在、上野焼の後継者不足が深刻な状況の中で娘2人が陶芸家として活躍している姿は、父そし

て陶芸家としても誇らしく思っています。これからも彼女たちの挑戦をそつと見守り、上野焼そして福智町の繁栄のため親子二代で切磋琢磨しながら頑張っていきたいです。ぜひ、私たちの作品を通じて、陶器に込めた思いや上野焼の魅力を手に取り感じてください。

Interview ^{くまがえ ひかる} 熊谷 光さん 「後継者として先陣を切り挑戦」

高 校三年生の頃から手伝いで器の販売などを行っていました。その後、青森で就職をして28歳のとき、上野焼の後継者として陶器の魅力を広めたいと思い、故郷で本格的に陶芸を始めることを決意。私は、陶片を使ったアクセサリや器などを作っていま

す。守窯の店舗には父や私たちの作品があり、幅広い世代のかたがたに楽しんでいただけるのが特徴でありコンセプト。上野焼は福智町の誇りであり魅力の一つです。これからも上野焼を守り、みなさんが身近に感じてもらえるような作品を作っていきたいです。



1 作業場では、父の背中を前に娘2人が真剣に作陶。**2** 作品についての意見交換やときには雑談もあり笑顔がふれる作業場。**3** 「焼き方や温度調整によって釉薬が出す色は変わるのとても面白い」と語りながら灯油窯の温度を随時確認する守さん。



まず手に取ってもらうことが大事」と揺るぎない情熱をにじませます。恐竜や生き物をモチーフにしたデザインが話題となり、今では町内外から多くのかたがその陶器を求めて足を運んでいます。
今、若き陶芸家の「挑戦」によって420年以上の歴史ある上野焼に新たな価値と未来への希望が生まれるようとしています。



^{くまがえ まはる} 熊谷 真春さん

福岡造形短期大学・九州産業大学卒業後、22歳の時に父である守さんのもとで本格的に陶芸を開始。

→生き物たちのリアルな質感を絵付けで表現する真春さん。



新たな風と価値を

吹き込む――。

親子二代で守り築く今までにない上野焼現状維持では乗り越えられない課題に立ち向かう活路を見いだすため日々、挑戦を行う守窯に迫ります。



誇りある伝統文化に



↑東京ドームシティ プリズムホールで行われるテーブルウェア・フェスティバル2025に出品するコップや器に真剣な眼差しで絵付けする守さん。

上野焼×JALのコラボ商品が誕生 Column



↑②から吉田瑞穂さん、高鶴享一さん、酒井俊雄さん、熊谷守さん。

地 元の魅力を発信するJALの客室乗務員「JAL ふるさとアンバサダー」の吉田瑞穂さんが秋の窯開きに向けて上野焼の器をデザインしました。コラボ商品はJALの象徴である鶴をイメージしたデザインが大好評で窯開きの3日間で完売。3月に行われるスイーツ大茶会でも第二弾のJALと上野焼のコラボ商品を販売する予定です。



↑②から庚申窯、守窯、昇龍窯。

暗雲漂う未来に指す新たな光
千利休のもとで侘び茶の奥義を極め茶人として名高い豊前小倉細川藩の初代藩主・細川忠興と文禄・慶長役で招致された李朝陶工・尊楷、この二人の出会いで始まった国指定伝統的工芸品の「上野焼」。毎年、春と秋に行われる陶器まつりでは町内外からたくさんさんの陶芸ファンが訪れにぎわいを見せます。しかし、現状は生活様式の変化による需要の減少や後継者不足、売り上げも平成17年のピーク時から5割減少し、町が誇る上野焼の未来に暗雲が漂っています。その中でも上野焼の活路を見出すため、親子二代で新たな風を吹き込み挑み続けている守窯。「私の作品で小さな子どもから大人まで上野焼を身近に感じて楽しんでもらえたら」と普及の意欲を語る次女の熊谷真春さんは、上野焼の伝統的な釉薬の特徴を生かした恐竜の植木鉢やカエルのメガネ置きなどこれまではなかった作品づくりに挑戦しています。
大学卒業後、22歳の時に父守さんの下で本格的に作陶を始めた真春さんは「町内外のかたにもっと上野焼を知ってもらうためには、

福智町の自然と魅力が豊かな

7世代CAMP

故郷の幸せを願う「7世代CAMP」。
キャンプ場の挑戦への熱い思いを紹介し
今できる「まちづくり」について考えます。

「故郷である福智町の素晴らしさや魅力をみなさんに広めて、町を盛り上げていきたい」そんな思いで2022年12月にオープンした「7世代CAMP」。

福智山の雄大な姿と広大な田園風景を望むことができるほかに、福智町の素晴らしさや生活文化を感じてもらうため、自然豊かな町の資源を使った体験型ワークショップなどを実施しています。

広がる魅力と未来への可能性



魅力が溢れるキャンプ場から 福智の未来を切り拓く 7世代キャンプオーナー 日高将博さん

ひたかまさひろ

「こうした素晴らしいキャンプ場ができたのは地元である草場地域の方々が始め多くのかたの協力、そして福智町の魅力があつてこそ。しかし、そんな福智町も年々減少している人口や農地の遊休地増加など様々な課題を抱えています。福智町の豊かな資源や未来を守るために私たち一人ひとりがまちづくりに少しでも関心をもち関わるのが大事」と危機感を募らせる日高さん。

今年で「7世代CAMP」はオープンして3年が経ちます。大阪や東京などの県外のかたやフランス、オーストラリア、韓国などの海外のかたも足を運んでいます。「キャンプ場に訪れたかたには温泉や上野焼など福智町ならではの魅力を楽しんでもらい、また来たいと思う人を増やしたい」と今後の思いを語る日高さんからは故郷への愛が溢れてました。

上野焼で上質な蕎麦を提供する

そば屋 こだるま

「上野焼」との運命的な出会いが生んだ
福智山の麓にある聖地「そば屋 こだるま」。
町とともに挑む店主 山岡さんに迫ります。



県外からも集う「そば屋」 まちづくりへの挑戦が始まる そば屋 こだるま店主 山岡良さん

やまおか りょう

そばの神様と呼ばれるそば打ち職人 高橋邦弘さんの下で7年以上修業した後、28歳でフランスへ渡り、パリの有名日本食レストランで10年間、蕎麦職人として腕を振っていた山岡さん。レストランでは上野焼の器を使っており、ある日、上野焼に興味を持つパリの料理人と渡窯の渡仁さんとの橋渡しをしたことをきっかけに、上野焼との縁を感じ、福智町へと移住し蕎麦屋をオープン

福智の魅力が引き寄せた決意

「そば屋を開業するまでに多くのかたがたからのサポートがありました。自然豊かな上野の地で多くの人にそばの魅力を伝えることができるのはありがたい経験。みなさんが守り大切にしてきたこの町の良さを蕎麦を通じて多くのかたに知ってほしい」と感謝を語る山岡さん。古民家を改装した店舗では、上野焼の器をはじめ、福智の四季を感じられる雰囲気づくりにこだわっています。蕎麦とともに福智の魅力を感じてもらいたい。その思いが店づくりの原点となっています。

「今後も蕎麦と町の魅力を掛け合わせ、ほかのそば屋にはないカラー（特徴）を出していきたい。そして私の挑戦がまちづくりの一助になれるよう頑張りたい」と山岡さんの目には福智町の明るい未来が映っていました。

「そば屋を開業するまでに多くのかたがたからのサポートがありました。自然豊かな上野の地で多くの人にそばの魅力を伝えることができるのはありがたい経験。みなさんが守り大切にしてきたこの町の良さを蕎麦を通じて多くのかたに知ってほしい」と感謝を語る山岡さん。古民家を改装した店舗では、上野焼の器をはじめ、福智の四季を感じられる雰囲気づくりにこだわっています。蕎麦とともに福智の魅力を感じてもらいたい。その思いが店づくりの原点となっています。



1 キャンプ場の看板は地域の子供たちと製作。
2 いつもお世話になっている赤池 草場地区のみなさんとBBQ。3 ボランティア団体 FIWC 九州と地域の小学生を対象に開催した「夏のあおぞら教室」。
4 東京都の中学校が修学旅行で来場。フィールドワークを通じた体験学習。
5 若者と地域をつなぐ活動を実施。



Interview FIWC九州 部長 中森 日菜子さん「福智だから始めたまちづくり」――

福智町は私が思う田舎とは違い、地域のかたとの交流で生活文化や自然に魅せられ、この町のために何かできないかと考えるようになりました。これからは町に溶け込み、一緒に考え行動していく「ワークキャンプ」を行い、私たちの元気で新しい視点をまちづくりに生かしていきたいです。

→12月に行われる「上野レモン収穫祭」の打ち合わせにも積極的に参加



1 それぞれの料理に合わせて上野焼の器を慎重に選定。（写真：ざるそば）
2 味わいをより深めるため、削りたての鰹節を入れて出汁を仕込む。
3 二八そば（そば粉8：小麦粉2）を毎朝、その日の気温や湿度に合わせて水の量を変え、仕上げる。
4 長年の経験で培った手先の感覚でそばを2ミリ間隔で切っていく山岡さん。

Interview 渡窯 渡 仁さん「ともに町を思い取り組むまちづくり」――

山岡くんとの出会いは、2012年の春の陶器まつりでした。露店でひたむきに蕎麦を打つ真摯な姿に心を打たれたのを今でも覚えています。そして、3年前にパリで働く彼から電話があり、迷わず「福智町でそ

ば屋をしないか」と声を掛けました。その後、「そば屋 こだるま」を開業。これからは彼の挑戦を後押しするために上野焼の魅力発信やまちづくりへの取り組みに努め、ともに福智町を盛り上げていきたいです。



挑戦が繋ぐ未来

故郷の今を知り舵を取る

福智町の多岐にわたる課題は急速に進み、町の未来に暗雲を漂わせています。課題への解決策は、山積みする問題に地域全体で正面から向き合い、強い決意を持って解決へと踏み出すしかありません。現状を知り、確かな福智町の理想像に向け、正しい方向に向けて舵を取り進むことが重要です。

福智町では、まちの強みや特徴を生かし、課題解決と地方創生を実現していくため、令和7年度から5年間にわたる基本目標や取り組みの方向性などを示した「第3期福智町 デジタル田園都市構想 総合戦略」を今年の2月に策定しました。総合戦略に沿って、人口流出の抑制を図るために、企業誘致による産業や雇用の場の創出に取り組むこと

もに、地域ブランド化の推進とあわせて魅力ある地域資源の発信を進めていきます。また、新たな賑わい創出に向けた施設整備や、空き家バンクと連動した住宅支援、安心して子育てができるサポート体制の充実など、様々な分野において多彩な事業を展開します。これらの取り組みを通じて「福智町に行きたい、住みたい、住み続けたい」と誰もが思えるまちづくりを目指していきます。

福智への愛が創る魅力と未来

今回、取材したみなさんからは故郷への思いや感謝、そして愛が伝わってきました。みなさんの挑戦はそれぞれですが、「1人でも多くのかたにこの町を好きになってもらいたい」という思いは一緒でした。福智への愛が挑戦の原動力となり、新たな魅力が生まれます。これからの町の未来を創っていくのは、他の誰でもなくここに住む私たち一人ひとり。私たちが少しでもまちづくりに関心を持ち参加すれば、今ある大きな困難を乗り越え、町の未来を明るく照らすことができるはずです。

福智町が抱える人口減少、財政危機など問題は数多くあります。そんな中で未来を切り拓こうと挑む人たちを紹介してきました。福智町はそんなかたを支え、地域全体を巻き込んだ「挑戦」を行っています。

地方創生の戦略が完成

理想の町を実現する「第3期総合戦略」



←「第3期 福智町 デジタル田園都市構想 総合戦略」は福智町公式ホームページで全ページをご覧ください。

福智町の挑戦

かつて平成23年〜31年まで開催していた福智スイーツ大茶会を福智町誕生20周年の年に復活させ、福智町にしかない風土や産品の魅力をPRし、地域ブランド化と地域活性化を図ります。上野焼の「器」と特産品の「食」、童謡作曲家・河村光陽の「音楽」の魅力を融合させ、「福智ブランド」を広くPRし、福智町へと訪れる第一歩へ結びつけることを目指し挑戦します。

6年ぶりに「FUKUCHI FIND FESTIVAL 2025」が復活



↑詳細は、今月号の裏表紙(P.32)をご覧ください。

特集「挑戦」福智の未来を切り拓くために— 終

お知らせ

福智町少年の主張大会

**児童・生徒の熱い想い
是非会場でご静聴を**

問 生涯学習課 社会教育係 ☎ 22-1521

町内7校の代表者が、日常の中で感じたことや学んだことなどを自分の言葉で発表する「福智町少年の主張大会」を開催します。来年2月に開催予定の「田川地区大会」代表選考も兼ねたこの大会。是非会場で熱い想いを受け止めてみませんか。

▶ 日時 **12月21日** 日 **10時開始**
▶ 開催場所 福智町地域交流センター

お知らせ

有害鳥獣に関する注意喚起

**野生動物が多数出没
被害防ぐご協力を**

問 農政課 農政係 ☎ 22-7767

近年、イノシシ・アライグマ・サル・アナグマなどの野生動物の出没が増加し、農作物を荒らしたり、人家の近くまで現れるケースも報告されています。人と野生動物が安全に暮らせる地域をつくるため、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

● 被害を防ぐ5つのポイント

- ▶ **エサやりは絶対にしない**
「かわいそう」と思ってエサを与えると、人を怖がらなくなり、被害が拡大します。
- ▶ **生ごみやペットフードを屋外に放置しない**
食べ物の匂いが動物を引き寄せる原因になります。
- ▶ **庭や畑の果樹を実らせたまにしない**
熟した果実は野生動物のエサとなり、敷地内への侵入を招きます。不要な実は早めに収穫・処分を。
- ▶ **田んぼはなるべく耕うんしておきましょう**
収穫後にそのまま放置すると、ミミズなどを求めてイノシシが掘り返す被害につながります。
- ▶ **見かけても近づかない・追い払わない**
興奮して攻撃される恐れがあります。静かにその場を離れましょう。

※ 目撃情報や被害があった場合は農政課までご連絡ください。

お知らせ

寄付・協賛金支援のお願い

**上野小創立150年
記念事業にご支援を**

問 上野小学校 ☎ 28-2133

来年で創立から150年を迎える上野小。特別な機会に際し記念式典を開催する予定です。記念事業実行委員会では現在、式典を開催するための寄付・協賛金を募集中。地域の絆を再確認し、未来への希望を築くためのご協力をお願いします。

- ▶ 個人一般寄付 一口 **1,000円** ~
- ▶ 企業協賛金 一口 **3,000円** ~



● 卒業写真を探しています！



平成7・8年度の卒業生集合写真を探しています。持っている卒業生は、上野小学校まで連絡をお願い致します。

ニュース

コミュニティ助成事業の結果報告

**宝くじ助成金を活用し
獅子舞の衣装を整備**

問 企画振興課 地域振興係 ☎ 22-7766



← 今回整備した獅子舞や稚児舞の衣装。

一般財団法人自治総合センターが実施する「コミュニティ助成事業」。宝くじの収益を財源として、地域コミュニティ活動を支援するために実施されています。今年度は、金田第2行政区(上金田地区)がこの事業を活用し、地域の恒例行事に欠かせない獅子舞や稚児舞などの衣装を新調。地域独自のコミュニティ活動に生かされる予定です。

参加募集

初心者向け男性料理教室

**料理を始める第一歩
踏み出したい男性募集**

問 保険健康課 健康係 ☎ 22-3518



← 上級者向けは2月に開催予定。

簡単な料理を作りながら調理の基本を学びます。料理上手への第1歩を踏み出してみませんか。

- ▶ 日時 **1月26日** 日 / **9時半受付・10時開始**
- ▶ 参加方法 1月16日(金)までに上記へ電話申込
- ▶ 開催場所 金田保健センター
- ▶ 募集人数 18人(参加無料・先着順)
- ▶ 持参する物 エプロン / マスク / 三角巾

お知らせ

期限満了による運営終了(事前周知)

**株式会社サンレーによる
「日王の湯」運営終了へ**

問 企画振興課 地域振興係 ☎ 22-7766

令和3年9月から約4年間に渡り、指定管理者として株式会社サンレーが「日王の湯」を運営しております。当初より、コロナ禍、光熱水費の急激な高騰など、温泉事業にとって非常に厳しい社会環境の中でしたが、地域の活性化に寄与するという役割を達成するため、地域の健康と憩いの場として「日王の湯」の継続運営にご尽力いただいております。しかしこの度、協定書の期限満了(期限：令和8年3月31日)に伴い、株式会社サンレーによる「日王の湯」の運営を終了することとなりました。営業終了日については、令和8年2月28日の予定です。今後は新しい指定管理者の募集を行う予定です。今後の状況につきましては、町HPや広報紙などでお知らせいたします。



お知らせ

水道管に関するお知らせ

**厳冬が予想される今期
凍結・漏水にご注意を**

問 田川広域水道企業団(料金センター) ☎ 23-2171

寒さが厳しくなると水道管が凍り、水が出なくなったり、破裂して漏水するなどの恐れがあります。凍結防止には、露出している水道管に保温チューブや布などを巻いて直接冷気が当たらないようにし、その上からビニールテープを巻き付ける方法が有効。また、メーターボックス内も新聞紙や布をビニール袋に入れて詰める等対策し、水道管の凍結・漏水を防ぎましょう。

もしも凍結したら



蛇口を開けて凍った部分にタオルをかぶせ、ゆっくりぬるま湯をかけます。熱湯をかけると水道管が破裂することがあるためご注意ください。

もしも破裂したら



止水栓を閉め漏水を止めた後、田川広域水道企業団指定の給水装置工事事業者(企業団HPで公開中)に修理を依頼してください。メーターより自宅側の修理は自己負担となります。※近所で漏水を見かけたら施設管理課へご連絡(☎23-2143)を

お知らせ

高校生通学定期券購入助成金

**通学定期券の購入助成
今月18日に受付開始**

問 企画振興課 政策推進係 ☎ 22-7766

福智町に暮らす高校生の保護者を対象に、定期券購入費用の一部を助成する「高校生通学定期券購入助成金」を実施しています。希望者は必要書類をそろえ、町公式LINEから申請ください。詳細は町HPで公開中。



- ▶ 申請開始日 **12月18日** 日
- ▶ 補助額 通学定期券購入額の半額
- ▶ 上限額 30,900円 ※100円未満切捨て





冷雨^{れいう}でも消せない、受け継がれし伝統の炎――



神幸祭

令和7年 金田稲荷神社 

Kanadainari Shrine JINKOUSAI

■普段は車通りが絶えない町役場前の主要道路を、この日はかりは神輿・山笠行列がジャック。■土砂降りの雨にも負けず、山笠を引っ張る子どもたち。■地元の女兒に長年舞い継がれてきた「トヨサカノマイ」を奉納■雨支度の神輿行幸■雨粒を振り払うかのような熱気ある獅子舞を披露■雨音に負けない囃子で仲間の士気を高揚■喝を入れる運行代表■寒さに動じない堂々の稚児舞で観衆を魅了■魂の叫びにも似た掛け声を轟かせながら重量10t以上の山笠を押し、難所である急坂を一気に駆け上がる早き手。

四 百年以上の歴史を誇る「金田稲荷神社神幸祭」が、10月25・26日に行われました。両日ともに冷雨の中での実施となりましたが、祭り関係者の想いの炎は消えるどころか大きく燃え上がり、例年以上の意気込みで山笠を練行。神輿のお下りと同時に、神社前に集った二区・上金田・町部・六区・平原の山笠が威勢よく掛け出し、「オーラーヤッサー」の勇ましい掛け声を挙げながら地区内を練り歩きました。風雨にも負けず伝統を守り抜いた各地区の早き手たち。逆境にもめげず立ち向かったその姿に、観衆は大きな感銘を受けていました。



1 しなやかで力強い舞踊 2 オープニングセレモニーに花を添えた金田義務後期と方城中の吹奏楽部による合同ステージ 3 会員や町立学校、保育園などの作品がずらり 4 会場の雰囲気を温かくしたフラダンス 5 裏千家流の茶席体験 6 リズムが特徴の詩吟 7 金田陶芸教室によるろくろ体験 8 毎年好評のパッチワーク体験 9 福智町文化連盟の歌を熱唱 10 趣向に富んだ名曲を合唱 11 名勝負が繰り広げられた囲碁大会



令和7年度
福智町

文化祭

FUKUCHI CULTURAL FESTIVAL PHOTOREPORT

「一人ひとりの、文化がある」をテーマに実施された福智町文化祭。歌や絵画、舞踊、ダンスなど、個性あふれる町の文化が一堂に会し、十人十色の芸術の花を開花させていました。



多種多様な文化が集結
全員で芸術の秋を満喫

「芸術の秋」を謳歌する「福智町文化祭」が、11月8・9日の2日間、金田分館で開催されました。三千点以上の作品が並んだ展示をはじめ、音楽や芸能、囲碁、歌謡による多様な催しが行われ、町内外から六千人以上が来場しました。

初日には「歌謡発表会」が行われ、40人以上が自慢の美声を披露。自らの心情を重ね合わせ、声高らかに歌い上げました。

初日の午後には「ふれあいコンサート」が行われ、7団体が心に響くハーモニーをお届け。最後には「かもめの水兵さん」と「月夜歌」を合唱し、会場にいた全員で有終の美を飾りました。

2日目には「芸能発表会」が行われ、幅広い年齢層の団体が出演。磨き抜かれた技で多様なダンス・舞踊・詩吟を披露し、鑑賞者たちを魅了しました。

今年も二日間にわたって「一人ひとりの文化」を表現した「福智町文化祭」。発表する人、見に来る人、支えるスタッフなど、文化祭に関係した全員で芸術を堪能した秋となりました。



学童クラブへの入所申込み

問 こども課 こども支援係 ☎ 22-3700

申込期間

12月1日(月)～12月26日(金)

8:30～17:15 (12:00～13:00を除く)
※12月5・12・19・26日(金)は19:00まで受付

申込場所

福智町役場2階こども課 ※前回から変更になっています

申込方法

11月10日(金)～配布中

次の①～⑤を各学童クラブ、もしくは役場2階こども課窓口で入手し、期間内にこども課へご提出ください。

- 1 入所申請書
- 2 就労(予定)証明書または看護(介護)状況申告書
- 3 届出事項
- 4 誓約書兼同意書
- 5 保護者負担金減免申請書

▶期間内に申請した人の審査結果は3月中旬頃までに郵送します。結果が届き次第、傷害保険料(年)を各学童クラブでお支払いください。

入所の要件

町内の小学生で、保護者が就労や病気などで放課後に帰宅しても見守ることができない世帯。

おともだち
たくさん♪

町内の学童クラブ

金田義務校区

そよ風学童クラブ

☎ 金田273番地
☎ 22-0115
⌚ 平日 18:00 まで
⌚ 8:00～18:00

金田学童クラブ

☎ 金田1283番地
☎ 22-5510
090-3735-3003
⌚ 平日 18:00 まで
⌚ 8:00～18:00

弁城小学校区

弁城小学校学童クラブ

☎ 弁城1936番地
☎ 22-4788
⌚ 平日 18:00 まで
⌚ 8:00～18:00

伊方小学校区

伊方小学校学童クラブ

☎ 伊方3927番地15(伊方小学校教室)
☎ 22-6743
⌚ 平日 18:00 まで
⌚ 8:00～18:00

すずらん学童クラブ

☎ 伊方4448番地
☎ 22-5177
学童専用携帯
080-2753-8152
⌚ 平日 18:00 まで / ⌚ 8:00～18:00

市場小学校区

市場小学校学童クラブ

(第一・二)
☎ 市場334番地
☎ 28-2999
⌚ 平日 18:00 まで
⌚ 8:00～18:00

上野小学校区

上野小学校学童クラブ

☎ 上野2622番地
☎ 学童専用携帯
080-8373-7592
⌚ 平日 18:00 まで / ⌚ 8:00～18:00



注意事項

- 学童クラブ保護者負担金の滞納がある場合、入所の優先度が低くなる場合があります。
- 学童クラブ保護者負担金の滞納が3か月以上ある場合、入所できない場合があります。
- 求職活動中・育児休業中は学童クラブをご利用いただけません。

保育所(園)・認定こども園の申込み

問 こども課 こども支援係 ☎ 22-3700

申込期間

12月1日(月)～12月26日(金)

8:30～17:15 (12:00～13:00を除く)
※12月5・12・19・26日(金)は19:00まで受付

申込が必要な人

R8年4月継続・新規入所(園)希望者
※町外保育所等の継続・新規入所(園)を希望の人も申込が必要です。

※上記期間内に申込がない場合は、R8年4月に入所(園)できなくなります。

申込方法

11月10日(金)～配布中

次の①②を役場2階こども課窓口で入手、または在所(園)中で継続希望の人は、保育所(園)で受取り、上記期間内にこども課へご提出ください。

- 1 「施設型給付費・地域型保育給付費等に係る教育・保育給付認定申請書兼施設等利用調整申込書」
- 2 就労・復職(予定)・育児休業証明書等保育ができないことを証明する書類

※町公式ホームページでも入手。
※病気、出産、介護・看護、障害などによる場合は、診断書や母子手帳、障害者手帳などを持参してください。

申込書提出先

福智町役場2階 こども課

入所申込基準

保護者などが①～⑩いずれかの事情で子どもを保育できない場合。

- 1 ひと月48時間以上労働している
- 2 妊娠中または産前産後2か月以内
- 3 疾病・負傷、精神や身体に障害がある
- 4 親族などを常時介護・看護している
- 5 災害の復旧にあたっている
- 6 就学中(職業訓練校などを含む)

- 7 虐待やDVのおそれがある
 - 8 求職活動などを継続的に行っている
 - 9 育児休業時すでに保育を利用中の児童で、継続保育が必要な場合
 - 10 上記いずれかに類似町長が認めた場合
- ※⑧と⑨は原則、短時間の保育となります。

その他

▶申込時には、必要書類が揃っているかご確認の上提出してください。書類に不備がある場合は受付できませんので、一旦返却します。
▶応募者多数時は書類審査のうえ、入所児童を選考します。

申込前に
必ずご見学を♡



町内の保育所(園)一覧

12の保育所(園)があります。各園で保育の時間帯が異なりますのでご確認ください。

赤池保育所

☎ 赤池859番地
⌚ 7:30～19:00
☎ 28-2257



中尾保育所

☎ 赤池418番地47
⌚ 7:30～19:00
☎ 28-3073



市場保育所

☎ 市場692番地
⌚ 7:30～19:00
☎ 28-2635



上野保育所

☎ 上野2197番地
⌚ 7:30～19:00
☎ 28-2244



金田保育園

☎ 金田958番地6
⌚ 7:00～19:00
☎ 22-0435



そよ風保育園

☎ 金田273番地
⌚ 7:00～19:00
☎ 22-3653



宝見保育園

☎ 金田1336番地2
⌚ 7:30～19:30
☎ 22-4435



神崎保育園

☎ 神崎1716番地1
⌚ 7:30～19:00
☎ 22-3399



ぎんなん保育園

☎ 伊方3958番地1
⌚ 7:30～19:30
☎ 22-0253



すずらん保育所

☎ 伊方4448番地
⌚ 7:00～19:30
☎ 22-5177



福智中央保育園

☎ 伊方4491番地2
⌚ 7:00～19:00
☎ 22-0450



第一保育所

☎ 弁城1840番地4
⌚ 7:30～19:00
☎ 22-4476



町内の認定こども園

認定こども園とは、幼児教育・保育を一体的に行う施設です。入園希望者は、ひらばる幼稚園に直接問い合わせください。

ひらばる幼稚園

☎ 金田275番地154
⌚ 7:30～18:30
☎ 22-5622



【12月の休館日】
1日(月) 2日(火) 9日(火)
16日(火) 23日(火)
年末年始の休館 ▶ 12/28(日)～1/4(日)
1/5(月)の開館時間のみ10:30～17:00
毎月1日・毎週火曜日は休館です。

ふくちのち便利

開館時間 10:00-18:00 / 福智町赤池 970-2 / ☎ 28-2855



MERRY Christmas

ふくちのち冬のイベント情報



ふくちのちイベント

◆上映会 **子ども向け** ☎
「映画すみっぐらし
ツギハギ工場のふしぎなコ」
12/6(土) 14:30-15:45

◆上映会 **大人向け** ☎
「プチ・ニコラ パリがくれた幸せ」
12/13(土) 14:30-16:05

◆スタッフのおはなし会
12/14・21(日) 11:00-11:30

◆大人の折り紙教室
12/19(金) 10:10-11:45

◆上映会 **大人向け** ☎
「お終活 熟春！
人生、百年時代の過ごし方」
12/20(土) 14:30-16:30

◆子どもの折り紙教室
12/27(土) 11:00-11:30
※先着16人／当日10時～受付開始

◆上映会 **子ども向け** ☎
「ギガントサウルス
マズのちょうせん ほか」
12/27(土) 14:30-15:20

☎…要申込

町内在住者には抽選応募券を2枚配付！

2025-2026 冬の読書マラソン大会

期間内に設定された冊数を借りて読み、返却した人の中から抽選で、ふくちのちならではの景品をプレゼント！
今年の冬も読書を楽しみ、素敵な景品をゲットしましょう。

大会期間 ▶ 12月3日(水)～1月26日(月)

応募締切 ▶ 1月31日(土) ※当選発表は3月4日(水)～

直方特別支援学校作品展 キラキラアート展



直方特別支援学校の学生が創作したアート作品を多数展示します。子どもたちの想像力が凝縮された作品をぜひご覧ください。

会期 ▶ 12月17日(水)～22日(月)

場所 ▶ 1階 ワクワクワ広場・企画展示室

作品を朗読で楽しもう

「ぶらんこのおはなし会」と「ドリームの朗読会」

おはなし会・朗読会を下記の通り開催します！奮ってご参加ください。

おはなし会 ▶ 12月13日(土) 11:00～／1階 おはなしのへや

朗読会 ▶ 12月21日(月) 14:00～／2階 多目的室

翌月のイベントを少しだけ紹介！

来月のふくちのちは…!?

●大人向け上映会「ハッピーニューイヤー」
子ども向け上映会「ふるさと再生日本の昔ばなし」を予定しています。

※内容は変更になる場合があります。

NEXT MONTH
INFORMATION

新着本

下記以外にも、司書がおススメする季節折々の本をふくちのち公式HPで定期的に更新中。こちらからご覧ください▶



小泉セツ
池田雅之／監修(平凡社)
そろそろNISAをはじめよう
と思ったら知りたいことが
全部のってる本
坂本綾子／監修(主婦の友社)

**手帳愛が止まらない！
LOG LIFE**
KADOKAWAライフスタイル編集部／編
バイリンガル版デラックス
ブルーロック 1
金城宗幸／原作(講談社)

だじゃれっしや
林木林／文(交通新聞社)
ポケモン生態図鑑
ポケモン／著(小学館)

**ラストで君は「まさか！」
と言う都市伝説**
PHP 研究所／編(PHP 研究所)
**リリとネネの
おばけパンケーキ**
田島かり／作(講談社)



町内優先あり

12/13(土) ①10:30～12:30
②13:30～15:30

フライパンで 生地から作るピザ

場所 ▶ 1階 クッキングラボ
定員 ▶ 小中学生各回8人／要申込
費用 ▶ 300円
※エプロン・三角巾・マスク等が当日必要



12/7(日) 14:00～15:00

九大フィルハーモニー・オーケストラによる ふくちのち冬の演奏会

場所 ▶ 1階 ワクワクワ広場
席数 ▶ 50席程度／申込不要
費用 ▶ 無料
※弦楽四重奏と木管五重奏による演奏



町内優先あり

12/6(土) ①11:00～11:40
②13:00～13:40
③14:00～14:40
④15:00～15:40

ゆらゆらと動く正月飾り 絵馬スタンドをつくろう!!

場所 ▶ 1階 ものづくりラボ
定員 ▶ 各回12人／要申込
※小学生未満は保護者同伴
費用 ▶ 無料(一人1個作製)



12/21(日) ①10:15～10:45
②11:15～11:45

マンダラ模様の マグネットづくり

場所 ▶ 1階 ものづくりラボ
定員 ▶ 各回15人／要申込
※小2以下は保護者同伴
費用 ▶ 無料(一人1個作製)



町内優先あり

12/14(日) ①14:10～14:45
②15:05～15:40

ゆらゆらトナカイの キーホルダーをつくろう

場所 ▶ 1階 ワクワクワ広場
定員 ▶ 各回18人／要申込
※小2以下は保護者同伴
費用 ▶ 無料(一人1個作製)



町内優先あり

12/13(土) 13:30～14:30

おおきな松ぼっくりの クリスマス飾り

場所 ▶ 1階 ものづくりラボ
定員 ▶ 小学生以上10人／要申込
※小3以下は保護者同伴
費用 ▶ 1,000円(一人1個作製)

pick up 社会体育係からのご案内

毎月第2土曜日はタダで使い放題
FFF無料開放を実施中!



複合型スポーツ施設「フクチファインドフィールド」を期間限定で無料開放! 最新情報は FFF 公式インスタグラムでご確認ください。

期日 ▶ 毎月第2土曜日(来年3月まで)
時間 ▶ フットサルコート: 9~22時
3×3コート/スケートパーク: 9~20時
予約 ▶ 不要(クラブハウスで受付必須)
問 FFFクラブハウス ☎ 23-2180

ひきこもり相談会(無料)
身近なところで相談ができるように、福岡県ひきこもり地域支援センター筑豊サテライトオフィスが福智町で相談を受け付けます。
日程 2月6日(金)
時間 10時~13時/15時~18時
※相談は予約制です。
場所 金田分館第1会議室
問 役場福祉課 ☎ 22-7762

敬老祝い金について
申込期間 12月26日(金)まで
祝い金額 2,000円
対象者 昭和31年4月1日までに生まれた70歳以上のかたで、令和7年9月1日時点で福智町に3か月以上住所を有するかた。
申請が必要なかた 今年度70歳になったかたなど、振込先の登録がないかたは申請が必要。敬老祝い金申請書に記入し、必要書類と一緒に役場窓口へご提出ください。
※申請時には、本人確認書類(運転免許証やマイナンバーカードなど)、振込先の口座情報(通帳またはキャッシュカード)、みとめ印をご持参ください。
問 役場福祉課 ☎ 22-7762

田川地区消防署からのお知らせ
各家庭で暖房器具を使用する機会が多く、空気が乾燥する冬は、火災が発生しやすい季節です。お出か
日時 12月12日(金) 9時~10時
場所 福智町役場
問 役場福祉課 ☎ 22-7762

田川地区消防署からのお知らせ
各家庭で暖房器具を使用する機会が多く、空気が乾燥する冬は、火災が発生しやすい季節です。お出か
日時 12月18日(金) 10時~11時
場所 中央公民館
対象 男女ともに体重50kg以上で男性17歳~69歳 女性18歳~69歳の健康な人
問 役場福祉課 ☎ 22-7762

無料法律相談会
日時 12月19日(金) 13時~16時
場所 福智町役場3階庁議室
※前日までにご予約ください。
※公式LINEからも予約可能。
※年度内のご利用は一人一回まで。
問 役場総務課 ☎ 22-0555

ヘルプマークをご存じですか?
外見からは分からなくても援助や配慮を必要としている人たちが、周囲の人に配慮を必要としていることを知らせることが出来るマークです。ヘルプマークを身につけた人を見かけたら、電車・バス内で席を譲ったり、困っているような場合は声をかけたりするなど、思いやりのある行動をお願いします。
問 役場福祉課 ☎ 22-7762

田川急患センターによる休日診療
日程 12月28日(日)~1月4日(日)
診療科目 内科/小児科/外科
診療時間 9~17時/18~23時
※12~13時は休診
※外科は9~17時まで
※受付終了は30分前まで
持参物 従前の健康保険証、マイナ保険証、または資格認定書
※各種医療費助成証(子ども医療証/重度障がい者医療証/ひとり親家庭等医療証など)をお持ちのかたは忘れずに持参ください。
※12月27日(土)は「土曜日診療」18~23時(受付終了:22時半)の内科と
問 役場福祉課 ☎ 22-7762

子ども支援オフィス無料巡回相談会
日時 1月9日(金) 10時30分~12時
場所 役場3階庁議室
※相談希望者は要事前予約
問 ことも支援オフィス ☎ 44-8612

心配ごと相談(相談無料)
① 日時 12月11日(木) 10時~15時
場所 方城分館
② 日時 12月20日(土) 10時~15時
場所 金田社会福祉センター
③ 日時 1月8日(木) 10時~15時
場所 方城分館
※12月20日(土)のみ司法書士による特別相談を実施します。特別相談は、事前予約が必要です。
問 社会福祉協議会 ☎ 22-6631

12月3日から9日は「障害者週間」
障がいがある人への理解と関心を深め、あらゆる分野の活動に積極的に参加できる環境づくりを進めることを目的としています。誰もが互いに人格と個性を尊重し支え合う社会に向けて、障がいへの理解を深めましょう。
●ヘルプマークをご存じですか?
外見からは分からなくても援助や配慮を必要としている人たちが、周囲の人に配慮を必要としていることを知らせることが出来るマークです。ヘルプマークを身につけた人を見かけたら、電車・バス内で席を譲ったり、困っているような場合は声をかけたりするなど、思いやりのある行動をお願いします。
問 役場福祉課 ☎ 22-7762

隣保館福祉相談会(無料)
生活課題に関する相談に応じ、必要があるときは関係機関を紹介いたします。相談は事前予約制。相談先の施設に直接ご連絡ください。
日程・場所
12月5日(金) 赤池隣保館
12月12日(金) 金田隣保館
12月19日(金) ほのぼの館
1月9日(金) 金田隣保館
1月16日(金) ほのぼの館
1月23日(金) 赤池隣保館
問 赤池隣保館 ☎ 28-4806
金田隣保館 ☎ 22-28002
ほのぼの館 ☎ 22-6290

田川地区急患センター
小児科です。
※12月29日(月)・1月5日(日)は「平日夜間診療」19~21時(受付終了:20時50分)の内科です。
問 田川地区急患センター ☎ 45-7199

子育て支援センター
からのお知らせ

就学前のお子さんと保護者が対象。イベントはすべて10時30分開始です。

- ① スクラップブック作り ▶ 12月12日(金) (10組限定)
- ② 親子リズム遊び ▶ 12月19日(金)
- ③ クリスマス会 ▶ 12月23日(月) (20組限定)

※イベントは、電話または町LINEからご予約ください。

● 子育てサロン
▶ 月~金 10~16時
問 子育て支援センター ☎ 22-2401



体育館や公民館整備の最新情報をお伝えします！

社会教育施設 整備通信

2025
Vol.7

01 旧コスモスの改修が着実に進行中 選択と集中による統廃合実現へ

「20万人都市に匹敵する」と指摘されてきた公共施設の多さは、合併以来の福智町の課題でした。多くの社会教育施設の耐用年数が目前に迫る中、これからはすべての施設を維持していくのではなく、町の規模、用途に応じて本当に必要な施設を選択し、集中して整備を行う必要があります。その中で、旧町単位の3つの公民

館を統合するための旧コスモス診療所・保健センター改修工事は順調に進行中であり、令和8年4月のオープンに向けて着実に準備を進めています。これからの社会教育施設は地域活性化、まちづくり、地域防災の拠点など、より幅広い役割が期待されています。新施設は2つの棟を用途に応じて整備するほか、災害時の避難拠点としての活用も予定。多目的施設として、住民サービスの向上と柔軟な施設運営を目指しています。



令和8年4月より3施設を統合 コミュニティセンター運用開始



▶ 旧コスモス診療所棟（公民館）

診療所として使用されていた部分を、部屋のレイアウト変更を含め大幅に改修中。大小さまざまな10以上の所室を備え、幅広い利用方法に対応が可能。



▶ 旧保健センター棟（学校教育・子ども支援）

教育委員会機能、子育て支援機能に加え、主に未就学児が利用可能な遊戯スペースや遊具等も設置予定。また調理室などは従来通りの利用が可能。



INFORMATION

▶ 令和8年4月以降、施設利用の 申込はコミュニティセンターへ

施設統廃合に伴い、公民館会議室、体育施設、交流センター等の利用申込やカギの受け渡しは順次コミュニティセンターへ移行します。これまでのように旧町単位での利用申請はできなくなりますが、従来よりさらに便利なオンライン施設予約システムの整備など、利便性の確保に努めてまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



今後も定期的に施設整備の最新情報をお伝えします！



↑これまでの広報紙は
こちらから(公式HP)

福智の風

▶今回、「挑戦」をテーマに取り組んだ12月号。取材では、みなさんの挑戦の先にそれぞれが思い描く町の未来、そして故郷への愛を強く感じました。限られた文字数の中で、その思いをすべて伝えることは難しいかもしれませんが、今月号を読んで、少しでもみなさんの心へ届いてくれたら幸いです。(和佐)

▶早いものであと1ヵ月でお正月!時の流れが早すぎて、心が追いついていません(笑)皆さんにとって今年はどんな一年でしたか?我が家では新年に目標を宣言するのですが、私の今年の目標が「家族も仕事も大切に」でした。なんとも欲張りな目標でごめんなさい(泣笑)達成度は75%!来年はどんな目標を立てようかな?(仮屋)

路の憂句会
互選
青奥いくせがたまらん秋の蜻
星出れば共に語らん捨て葉山子
歎道分けて山城赤き葉黄
神無月宮の朝霧いよ濃き
日に風にもて遊ばれて落葉す
高津 澄子
藤井耿之介
香月 眸
大井 良治
落合 東太

はな俳句会
建部三由紀選
渦となり波となりつつ小鳥くる
秋惜しむ夕日の温み海に落ち
蒸し芋食欲の手をつい伸ばし
名月を独り占めして手酌酒
良き場所を見つけて鳴きし虫の夜
源流に神の山置き豊の秋
選者 吟
馬郡 京子
藤本 鈴子
山本ヨシ子
豊田 保
山田 花子
選者 吟

鬼杉赤池俳句教室
建部三由紀選
産声に始まる命星月夜
鳴く鹿のハートの尻も恋模様
新品の家具と爽気を迎え入れ
師を慕ふ涙の如き墓碑の露
落鮎の美しきまま焼かれけり
金風や歴史が続く石畳
手土産に紅白もなか菊日和
秋麗犬もスキップ散歩道
保険税値上がり通知そぞろ寒
仏像の朽ちも国宝十三夜
選者 吟
西田 真美
清原サヨ子
高三 西田 咲笑
二宮 正人
岩井 童子
桂 啓子
安永より子
安川 吉成
大野喜代子
選者 吟

ふくち福智
2025.12
Vol.34
●福智町で活躍する「仕事人」を紹介!
食べ飲み場 鉄板ベース(金田1125-3)
店主 瓜生 剛志 さん



長年TOTO(株)で勤めていた瓜生剛志さん。昔からの飲食経営への憧れから「挑戦しないって後悔したくない」と「脱サラ」し、昨年12月に「鉄板ベース」を開店しました。今月で1周年を迎える瓜生さん。「今後も誰もが笑顔になれる場を提供していきたい」と想いを語りました。



逸品 上野焼 秋の窯開き 品求め陶芸ファン四千人が上野に来場

上野焼協同組合主催の「上野焼秋の窯開き」が10月24日から3日間で開かれ、県内外から大勢の焼き物ファンが陶の里に訪れました。各窯元^{ソラノワ}の新作や、JAL とコラボし特別に制作した「SORA no WA」なども販売。来場者たちは丹精込めて作られた品々を手に取りながら、自分だけの逸品を探していました。



↑ 手触りや色味、形を吟味しながら、とびきりの逸品を探す焼き物ファンたち。

↓ 小学校1・2年生女子の部(600m)から競技開始。スターターは黒土町長。



声 第18回 福智町ふれあいマラソン大会 援を背に町を駆け抜けたスポーツの秋

子ども育成連絡協議会主催の「ふれあいマラソン大会」が、11月23日に彦山川側河川敷で開催されました。町内の児童・生徒64人は8部門に分かれ、持てる力を尽くして0.6km～3kmのコースを全力疾走。子どもたちは、沿道から送られる家族や友人からの声援を力に変えながら、ゴールまで一気に駆け抜けていました。

↓ 山笠同士が昇き棒を合わせて押し合い力比べする「けんか」は特に大盛り上がり。



煌 金田・神崎山笠競演会 びやかな山笠の練りまわしに観衆大熱狂

秋の福智町を彩る一大行事「金田・神崎山笠競演会」が10月25・26日に金田ドーム前で開催されました。会場には豪華絢爛な電飾山笠8基が集結し、囃子の音色と共に圧巻の練り回しを披露。町内外から訪れた5千人以上の大観衆は、心のボルテージを最高潮に高めながら、勇猛果敢な山笠の姿を前のめりで鑑賞していました。

↓ 昇龍窯の酒井俊雄さんの指導の下、初めてろくろによる作陶体験をする龍南高校の子どもたち。



日 令和7年 秋の防災運動 常を守るため家族と防災を考える

上野小学校6年生の平嶋紗羅^{ひらしま さら}さんが「令和7年 秋の防災運動」に出品したポスターが消防長賞を受賞しました。作品数1835点の中から最優秀賞に輝いた平嶋さん。「自分にできることは家族としっかり防災について考えることだと思ったので「日頃から家族と防災」というテーマで描きました」と作品に込めた思いを語っていました。



↑ 「最優秀賞に選ばれたとき、驚きと嬉しさがあった」と頬を緩めた平嶋さん。

↓ プロと同じコート、同じ実況で白熱した会場で行われた中学生たちの事前試合。



プロ B.LEAGUE2025-26 の会場で白熱した中学生らの事前試合

今年の2月にフレンドリータウン協定を結んだライジンググゼファーフクオカの福智町応援デーが11月16日に北九州総合体育館で開催され、町民200名を無料招待しました。金田義務(後期)と赤池中の合同チーム VS 方城中チームの事前試合が会場で行われ、生徒らにとって特別な経験となり、試合後には清々しい笑みを浮かべました。

か 岳陽同窓会による平筑支援 つての恩人支援するヘッドマーク運行

経営難が続く平成筑豊鉄道を支援するため、田川高校の卒業生でつくる「岳陽同窓会」44期生が10月1日から一ヶ月間ヘッドマークを掲示した列車を走らせました。東京や関西、福岡など7支部が資金を出し合い、今回の取組が実現。実行委員長の高橋淳さんは「存続へ少しでも力になりたい」と頬を緩ませました。



↑ 平成筑豊鉄道が開業した同年に入学した「岳陽同窓会」高44回 実行委員。



なかむら ひなみ
中村 日菜美ちゃん③
R4.12.28 生 (赤池)



ひさとみ たいよう
久富 太陽くん③
R4.12.27 生 (井城)



はらだ ひゆう
原田 桜有くん②
R5.12.27 生 (赤池)



たつしま ふうあ
辰島 楓杏ちゃん②
R5.12.13 生 (神崎)



ふじうら こう
藤浦 虹くん②
R5.12.2 生 (神崎)



みうら きな
三浦 季椰ちゃん①
R6.12.5 生 (赤池)

ふくち玉手箱
Fukutama

みんなでつくる
ごきげんなページ“ふくたま”

HAPPY
BIRTHDAY

12 月生まれ

貴重な時間に笑みがこぼれた「作陶体験」

→お皿に職員の名前を彫る利用者。



上野焼 柴ノ門
窯で11月12日に
障がい者支援施設
みろく園の利用
者の皆さんが
作陶体験を行
いました。窯元の柴
田夫婦の協力のもと参加者たちは自分の手形をつけた平
皿を作陶。普段はできない貴重な体験を楽しみました。

白熱した「グラウンドゴルフ決勝大会」

→45人が華麗なホリインを記録。



予選を制した
30チームによる第
19回福智町グラ
ウンドゴルフ決勝
大会が11月2日
に金田ふれあいス
ポーツ公園で行わ
れました。大会には197人がエントリー。終始ハイレベルな
戦いが繰り広げられ、選手たちは鍛錬の成果を発揮しました。

FIWC九州と堀田窯の絆深めた芋の収穫

→芋は活動関係者に振る舞う予定。



FIWC九州の大
学生と堀田窯の世
良萌久美さんが
共に育てた芋の収
穫が、10月26日
に行われました。参
加した大学生6人
と地域住民4人は、シルクスイートや安納芋、紅はるかを5箱
収穫。農作業に汗を流しながら相互の親交を深めました。

1歳～3歳のかわいい笑顔あつまれ

- 申込期限は毎月お誕生月の前月10日(土・日・祝日の場合
は翌開庁日)。1月生まれのお子さんは**12月10日**迄
- に写真かデータを下記窓口に提出するか、町公式LINE
(右下の二次元コード先)で手続きし、お申込みください。
- ※写真データでの提出がおすすめです
- 福智町役場2階 企画振興課
政策推進係 ☎0947-22-7766



蓮真會の今川さんが初の全国大会で健闘

→週3で鍛錬に励む今川さん(中央)。



蓮真會所属の
今川紫月さんが
10月19日に行
われた「第4回
JKKF日本硬式空
手道全日本選手権
大会」の幼児混合
組手の部で準優勝しました。今川さんは「12月に行われる
大会では優勝する」と悔しさを糧に更なる高みを目指します。

互いの文化を紹介し学んだ国際交流授業

→上野小では5・6年生20人が参加。



町内の小学校5
校で10月31日～
11月14日にかけて
海外の小学校との
オンライン交流が
行われました。児
童たちは、ニューカ
レドニア、マレーシア、台湾、キルギスなどの文化を学び、ジェ
スチャーゲームなどを通じて異文化交流を楽しみました。

元ソフトバンクホークスの柴原さんが訪問

→ホークスで活躍した柴原さん(中央)。



元福岡ソフトバ
ンクホークスの柴
原洋さんが9月19
日に町長を表敬訪
問しました。町長
と副町長は、柴原
さんとスポーツを
通じての地域創生について対談。今後、柴原さんは町内で
野球塾や野球教室などの幅広く活動を行っていく予定です。

火の用心呼びかけた消防団「防火パレード」

→団員10人、消防車両6台が参加。



秋の火災予防
運動の取り組みと
して、11月10日
に「防火パレード」が
行われました。糸田
町消防団と合同で
実施されたパレー
ドに、町消防団の第2・5・13分団が参加。約2時間かけ
て両町を巡回しながら、火災への注意を呼びかけました。

絆を深めた町民会議「親子で楽しむタペ」

→ピノキオとの記念撮影に大興奮。



青少年育成町
民会議主催の「親
子で楽しむタペ」
が、10月24日に
金田体育館で行わ
れました。劇団バン
プーが「人形劇
ピノキオ」を公演。来場した約350人は笑いと感動の人形
劇を鑑賞し、家族の思い出をまた一つ増やしていました。

福智町商工会主催「I LOVE フクチ夢フェスタ」

→実は町出身のしゃーぼんぼんさん。



「I LOVE フクチ
夢フェスタ」が11月
15日に中央公民館
前で開催されまし
た。働く乗り物の
乗車体験や抽選会
などで、会場は大
盛況。最後には人気急上昇中のしゃーぼんぼんさんによる
公演が行われ、拍手喝采と共にフィナーレを迎えていました。

地区の一夜を鮮やかに彩った「六夜侍ち」

→賑わいを見せた神幸祭の獅子舞。



上井城集会所
で「六夜侍ち」が
11月1日に行わ
れました。豊作を
願い江戸時代か
ら始まり150年以
上続いているこ
の祭。約160人の来場客は、カラオケやダンス、伝統芸
能などの演芸会を楽しみ、大盛況の一夜を過ごしました。

絵本を読む会ぶらんこ主催「絵本のつどい」

→熟練の朗読に聞き手はつとまり。



絵本を読む会
ぶらんこ主催の
「第24回絵本の
つどい」が、11月
16日にふくちのち
で開かれました。
7つの絵本の読み
聞かせとウクレレ演奏を披露。絵本の世界で豊かな感性と
関心を育み、参加者80人は、素敵な時間を過ごしました。



福智スイーツ大茶会

その規模、まさに九州最大！
41店の逸品を心ゆくまで…



2026年 **3/28** [SAT] **29** [SUN]

最新情報
 福智町HPで
 随時更新!!



福智町金田ドーム **入場無料** **10時-16時**